

様式2－2

事業所名	HarerubaseKariyaグループホーム 奏
------	---------------------------

日中サービス支援型共同生活援助事業報告・評価シート【令和 6 年度分】

【報告日】 令和 7 年 5 月 23 日
【評価日】 令和 7 年 5 月 23 日

基本情報 令和7年3月31日時点	事業者名		株式会社 TRINITYPARTNERS						事業所名		HarerubaseKariyaグループホーム 奏					
	事業者所在地		名古屋市熱田区白鳥3-10-19						事業所所在地		刈谷市半城土町大下馬100番地					
	事業開始日		令和	5	年	5	月	1	日	人員配置						
	定員	共同生活援助	20						人	世話人	5	人	常勤換算	2.6	人	
		短期入所	2						人	生活支援員	10	人	常勤換算	3.2	人	
									夜間支援従事者	10	人	常勤換算	3	人		
	運営に関する特色、工夫、成果及び課題等		特色：ショート夜勤としてを1名増員して夜勤者を3名体制にする 日常生活(ADL)を基本として、洗濯、居室清掃、シーツ交換等で生活の質(QOL)を向上させる 理由：夜に出歩く利用者及びエスケープの対策として一人増員させる / 生活のリズムをつくる 成果：7名がB型の就労へ 3名が生活介護へ 1名が移動支援を活用できている 課題：ショート夜勤の仕事量に差が出ている(日によって穏やかな日もあり忙しさに差がある)													
共同生活援助利用者 令和7年3月31日時点	障害支援区分		人数						内訳 (重複はそれぞれ記入)	主な障がい種別利用者人数						
	非該当		0 人							身体	総数		0	人		
	区分1		1 人								主に日中GHで過ごす人数		0	人		
	区分2		2 人							知的	総数		9	人		
	区分3		3 人								主に日中GHで過ごす人数		2	人		
	区分4		7 人							精神	総数		8	人		
	区分5		4 人								主に日中GHで過ごす人数		3	人		
	区分6		1 人							難病等	総数		1	人		
	合計		18 人								主に日中GHで過ごす人数		0	人		
	年齢構成	60歳以上	3 人	50代	3 人	40代	3 人	30代	0 人	20代	8 人	20歳未満	1 人			
	医療的ケアの必要な者		0 人						強度行動障がいのある者		3 人					
	その他(車椅子利用等)		0 人						具体的に記入		(空白)					
	日中活動サービスの利用状況 (重複はそれぞれ記入)		生活介護		4 人		自立訓練 (機能訓練)		0 人		自立訓練 (生活訓練)		0 人			
			就労移行支援		0 人		就労継続支援 (A型)		1 人		就労継続支援 (B型)		9 人			
	当該年度の入所者数 (合計)※1		3 人						当該年度の退所者数 (合計)※1		4 人					
	支給決定 市町村	刈谷市		西三河地方				東三河地方				尾張地方		愛知県外		
		8 人		豊田 安城 高浜 碧南		市町村 5 人		知多 東海 東浦		市町村 5 人		(空白) 市町村 0 人		(空白) 市町村 0 人		
短期入所の利用者 令和6年2月1日～令和7年3月31日 ※1			利用延べ数				67						人			
			うち、緊急利用者延べ数				1						人			

※1:初めて評価を受ける場合は、「事業開始日～その年度の3月31日」の情報を記入。
2回目以降の評価を受ける場合は、「前回評価を受けた月の翌月～今回評価を受ける年度の3月31日」の情報を記入。

事業所名	HarerubaseKariya グループホーム 奏
------	----------------------------

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入欄】 要望・助言・評価
1 常時の支援体制の確保	(1) 日中、夜間、土日含めた常時の支援体制が確保されているか。	・1階が男性専用、2階が女性専用のフロアになっており、1階、2階とも職員を早番、遅番、日勤、夜勤の勤務体制で配置しています。日中については、各階2名以上ずつ職員を配置し支援しています。 ・夜勤は各階1名ずつ職員を配置し、支援していますが、令和6年1月より夜勤者1名を追加し、全体で3名体制で支援しています。 ・日中は事務所にも、必ず1人以上おり、来客、電話対応、事務作業等行っておりますが必要に応じ現場対応も行います。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
2 支援の実施・質の確保	(1) 日中を住居内で過ごす利用者に対して、個々のニーズや障害特性に配慮した支援に努めているか。また、利用者が充実した地域生活を送れるよう外出や余暇活動等の支援に努めているか。	・基本的には個別支援計画に沿って支援を行っています。個別支援計画の作成の際や、担当者会議で課題に挙げた内容を盛り込み自立に向けての訓練とし生活に必要な掃除洗濯等の個別支援をしています。 ・余暇活動では以前病院で作業療法として実施していたプログラムをレクチャーしてもらい(総合わせ等)取り組んでいただくことや生活介護にて実施していることを事業所でも取り組んでいただいたりしています。 ・生活介護等が休みの日には、移動支援や行動援護の他サービスを相談員へ提案し外出を楽しんでいます。 ・他は部屋でTVを見たり漫画を読んだりして自分に合った一人の時間を過ごす方もみえます。 ・移動支援等がない日や急なご希望があるときは支援者が寄り添って一緒に買い物に出かけます。 お一人で出かけられる方は自由に外出します。 ・毎月、レクリエーションを実施しておりその月に合わせた行事を行っています。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
	(2) 利用者への支援のために、特定相談支援事業所や他の福祉サービス事業者と綿密な連携、情報把握に努めているか。	相談支援事業所と定期的な連絡・意見交換をしています。 ・利用者の病状の変化やトラブルがあった時、相談支援員へ報告/相談を電話でさせて頂いてます。 ・体験入居から本入居に至るまでに日中活動先/ご両親・相談員と数回オンライン会議や対面での担当者会議に参加します。薬の調整やその後の行動記録をデータ化し入居に向けての検討会を必要に応じて実施します。 ・入居やショートのご利用時にも普段どのように支援を受けられているかを知るためにGHや生活介護に協力頂きインテーク時とは別にサビ管以外の支援員が日頃の様子を観察及びレクチャーを受けるようにして個別支援作成に活かしています。 ・施設の窓口としてサービス管理者が2名で対応しており1本化を図っています。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
	(3) 利用者が日常生活において必要な行政手続きや、利用者の同意を得て行う場合の金銭管理等の手法について。	金銭管理に係るマニュアルを作成し対応しています。 例えば、以下のとおりです。 ・金銭管理は、利用者様の相談員と本人が納得のもと事務所の鍵の掛かるキャビネットで管理を行い必要な時必要なお金を渡しています。また、使用後はレシートと残金を事務所に持ってきて頂き、現金出納帳を記入し本人と確認しています。 ・自己決定出来ない方は、家族と話し合いを行い必要な時は施設のお金を立て替えて、領収書と一緒に請求をしています。 ・必要な行政手続きは利用者様本人と相談員と話し合い納得の上で同行して手続き実施しています。 必要に応じて市役所窓口まで同行します。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
	(4) 利用者の健康管理について、医療機関との連携内容、医師や看護師の訪問の有無、頻度、日々の健康管理の方法について。	・毎朝バイタル測定/体調チェックを実施します。 ・在宅クリニックと連携して体調不良の時は連絡し指示を受けて看護師が対応します。 ・かかりつけ医のいる利用者様の体調不良時は担当医に施設から連絡し、指示を受け対応します。 ・薬の管理も、薬局から施設に届けて頂き、2名の看護師が利用者ごとに毎食後の薬を専用箱に配薬しています。受診され薬を処方された際も看護師が薬を受け取り薬情を確認して配薬します。 ・病院に受診時は看護師が担当医に日々の様子を手紙を書いて体調の維持を図っています。 ・外部のリハビリ、訪問看護と連携して情報交換を実施しています。(「訪問看護 あやめ」「訪問看護 和来」「刈谷訪看仁」「訪問看護 アイリス」と連携)	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
	(5) 職員の質の向上に努めているか。(研修の実施、資格の取得等) また、常時の支援体制の確保に努めているか。(職員採用、離職防止策等)	2024年度 実施した研修名等 ・ <u>強度行動障害支援者</u> 研修 (5)名 ・ <u>アンガーマネジメント</u> 研修 (15)名 ・ <u>障害者虐待防止研修</u> 研修 (15)名 ・ <u>福祉基礎研修</u> 研修 (2)名 その他の取組 ・他事業所・施設との話し合い(くらしと通所)や高次脳障害精神障害の支援方法の会議にも参加している ・スタッフにストレスチェック実施して貰い職員と定期的に面談を行うことで職員の悩みや不安等の解消、職場環境の改善に努めています。 ・職員採用時には入職前にイメージの相違が生じないように職場見学をして頂いています。利用者/スタッフとの顔合わせや支援している様子を見てもらっています。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)

事業所名	HarerubaseKariya グループホーム 奏
------	----------------------------

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入欄】 要望・助言・評価
3 地域に開かれた運営	(1) 家族や地域住民との交流の機会を確保に努めているか。	・レクリエーションとして、利用者様のご家族を招いて、夏祭りを施設で実施しました。その時、ご家族と一緒にビニールプールで水遊びをしたり食事は屋台風に作って提供しました。かき氷、スイカ、ジュース、カレー等を食べて楽しいひとときを過ごしました。 ・地域住民との交流の機会の確保のため地域のイベント等への参加しています。 半城土の町内会へ入会后、スポーツ大会、水害防止訓練、夏祭り、半城土町 避難訓練、繁昌土稻荷初午祭に参加して登旗に名前書いて頂き奉納させて頂きました。 ・これから、地域連携推進会議の開催も予定しています。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
4 短期入所について	(1) 地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場として、緊急受け入れを含め、積極的な受け入れに取り組んだか。	・2025年1月 東浦町の20歳 女性 療育C判定 家庭内虐待の可能性ありのため、刈谷病院で避難していた状態で相談員から連絡を受け、受け入れています。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
5 障害者自立支援協議会からの評価結果への対応について	(1) 障害者自立支援協議会からの評価結果を事業運営にどのように取り入れたか。	・地域との交流はオープン当初は中々計画通りにすすみませんでしたが、R6年4月に町内会に入り回覧板等で地域の情報を把握し、班長さんとも電話連絡を取り合い、地域のイベントに参加しています。 ・障害区分や年齢制限等はリーフレットに記載させていただいてます。 ・看取りや重度化に関する支援体制については施設看護師2名、訪問診療にて24時間体制にて対応していただけます。緊急時は主治医より救急搬送先の確保をしていただけます。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
6 その他、事業所からの報告事項	(1) 運営内容での特徴や成果	・隔週水曜日の9:00～10:00で運営会を開催して、入居者情報やスケジュールの確認を実施しています。 また支援の統一性の見直しや個別支援会議を行い支援の問題点を共有し改善策を話し合う場を設けています。 ・各委員会も併せて実施しており、レクリエーションの予定ヒヤリ・ハット情報も共有しています。 ・法人内にて各事業所での研究発表を開催予定です。 (令和7年度に発表会予定) ・職員のスキルアップを図ることにより、強度行動障害の利用者や身体障害の方の受け入れも視野に入れています。 (強度行動障害支援研修終了者 9名/15名中)	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
	(2) 課題(運営資金、人材確保、人材育成等運営に関して抱えている課題)	・人材確保、育成において、例えば利用者支援において入社時のイメージとの違い(特に強度行動障害や強い精神症状の利用者様の支援)から、入社後間もなく退職してしまう方もいます。そのため、入社時には、丁寧な業務内容の説明や職場見学、勤務の体験に必ず来てもらうなど、離職対策に努めています。 ・新人スタッフの育成にあたり、日勤等を経験して利用者様の特徴や仕事の流れを理解してから、夜勤業務等業務の幅広げること、スキルアップ及び支援の質の確保に努めています。 ・管理者が面接の研修を行い、働きたいと思わせる魅力ある施設とはを勉強して面接者に伝えています。	☐ 問題なし ☐ 改善の必要あり ☐ 意見・要望あり(余白に記入)
7 その他	(自立支援協議会委員用) 1～6の項目以外でご意見がありましたら、ご記入ください。		☐ 意見・要望あり(余白に記入)

本書のとおり評価いたします。

委員氏名